



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

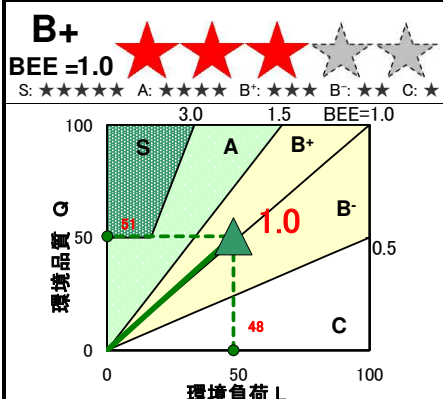
## 1-1 建物概要

建物名称	(仮称)ESR南港データセンター新築工事		
建設地	住之江区南港北1丁目		
建築用途	その他(コンピューター室)		
建築主			
設計者			
敷地面積	8,068.12	m <sup>2</sup>	
建築面積	4,967.54	m <sup>2</sup>	
延床面積	24,495.77	m <sup>2</sup>	
構造/階数	S造	/	地上5階
完了年(予定)	2024年8月		

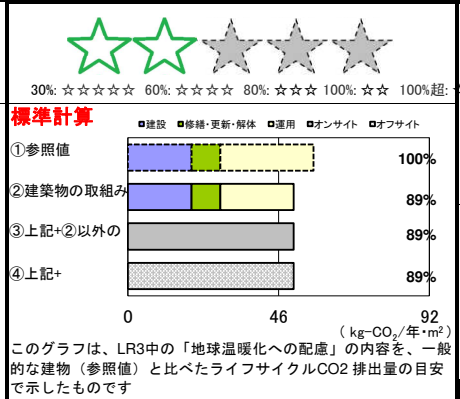
## 1-2 外観



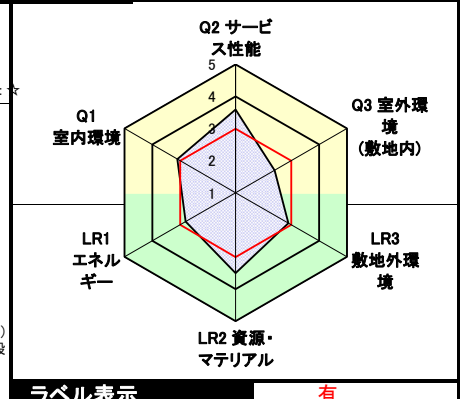
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



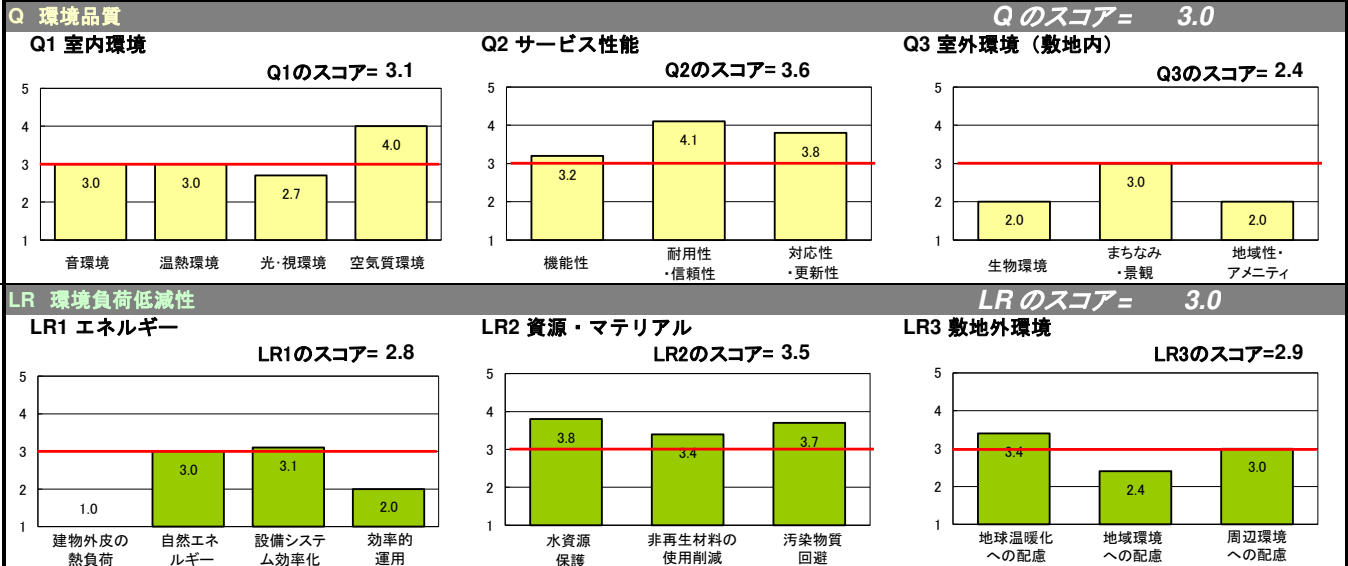
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 非居室であるコンピューター室を主とした施設である。 電力を二系統にするなど非常時においても信頼性の高い建物計画とした。また低層部をセットバックし建物に浮遊感を与えることで、周辺への圧迫感低減を図り景観に配慮した。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 1Fロビーの北外壁面には庇を設け、1F事務室にはブラインドを設置することで、グレアを抑制し室内環境の向上を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> ユーザーが求める耐災害性を網羅しデータセンタービジネスを継続できる仕組みを構築する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 室外機は地上面ではなく、屋上に設置することで、敷地内温熱環境の向上に貢献。
<b>LR1 エネルギー</b> BEMSの利用と、24時間管理体制により効率的運用の実現。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS工法の採用により、躯体と仕上げが分離可能になるように配慮。 消火剤としてN2ガスを選定。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑地を道路境界部に設けることで、敷地外への温熱環境悪化の改善に貢献。 雨水貯留槽を設けることで、降雨の際の下水道への負担の抑制。

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.4
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	1.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 1.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.1
配慮事項	特になし

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] -
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.79	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.79